

第1号様式

(第1面)

事業活動脱炭素化取組計画書

(宛先) 川崎市長

郵便番号 213-0012

住 所 川崎市高津区坂戸3丁目2番1号

氏 名 ケイエスピー熱供給株式会社

代表取締役社長 吉村 浩一

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	ケイエスピー熱供給株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 高津区坂戸3丁目2番1号 KSP西405		
該当する事業者の要件 及び温室効果ガスの排 出を行う産業、運輸そ の他の部門	<input checked="" type="checkbox"/>	規則第4条第1号該当事業者	エネルギー転換 部門
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第2号該当事業者	部門
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第3号該当事業者	部門
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第4号該当事業者	部門
主たる事業 の業種	大分類	F	電気・ガス・熱供給・水道業
	中分類	35	熱供給業
主たる事業 の内容	熱供給事業法に基づいたかながわサイエンスパーク地域絵の熱供給		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量	1,600 kL
	<input type="checkbox"/>	自動車の台数	台
	<input type="checkbox"/>	エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量	t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計 画 期 間	2025 年度 ～ 2027 年度
事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量の削減等を図るための基本方針	別添 指針様式のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減等に向けた組織体制	別添 指針様式のとおり
事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量及び当該量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
エネルギーの使用量及び当該量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
再生可能エネルギー源の利用及び使用するエネルギーの電化に係る事項	別添 指針様式のとおり
自動車の使用に伴う温室効果ガスの排出の量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する技術又は製品の開発等に係る事項	別添 指針様式のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 計画書には、事業活動脱炭素化取組指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。

1 事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量の削減等を図るための基本方針

(1) 温室効果ガス排出量の削減等に向けた方針

基本様式

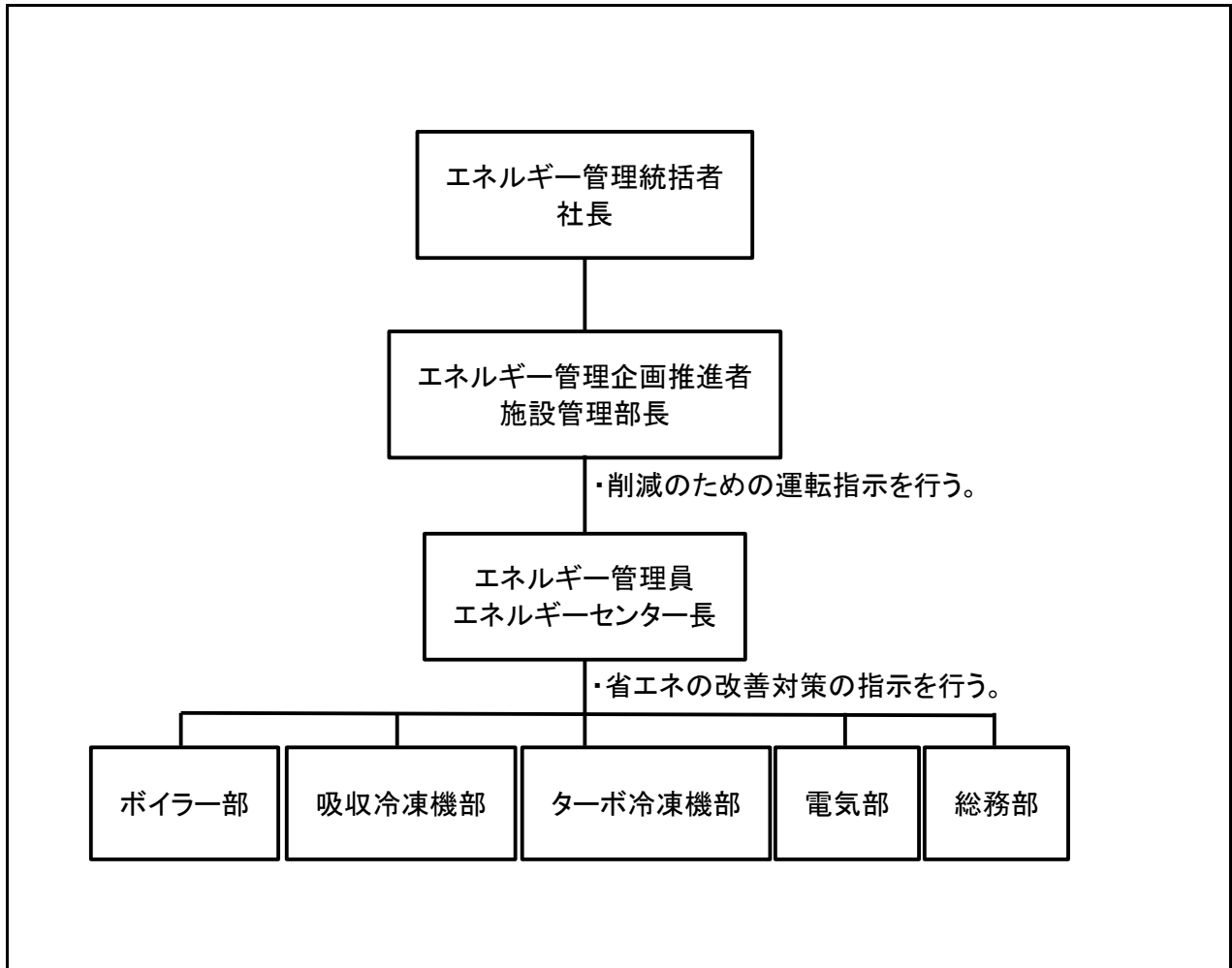
次の4つの方針により、地域温暖化対策に関する取組を組織的、継続的に推進する。

- 1 目標値を定め温室効果ガス排出量の削減に取組、活動する。
- 2 計画期間（3年間）は、事業活動脱炭素化取組指針に基づき実施する。
- 3 熱供給設備の整備・維持管理によりロスを減らす。
- 4 熱供給設備の運転管理にあたっては、効率の良い運転を実施する。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（P D C Aサイクル）を行うための方針

- ①エネルギー管理統括者が削減対策の方針を決定する。
- ②エネルギー管理企画推進者が適宜削減対策のための運転指示を行う。
- ③エネルギー管理企画推進者及びエネルギー管理員の指示により各部会が改善対策を実施する。
- ④各部会が運転データを測定し、エネルギー管理企画推進者及びエネルギー管理員が省エネ効果を検討する。
- ⑤エネルギー管理統括者へ結果を報告し、エネルギー管理統括者が方針の見直しを行う。エネルギー管理企画推進者が適宜運転指示の見直しを行う。

2 温室効果ガスの排出の量の削減等に向けた組織体制



3 事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量及び当該量の削減に係る事項

(1) 計画期間の温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量((基)は基礎排出量を、(調)は調整後排出量を示す。以下同じ。))

	1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
基準年度	2024	年度	2024	年度	2024	年度
目標年度	2027	年度	2027	年度	2027	年度
基準排出量 (t-CO ₂)	(基) 517 (調) 517		(基) (調)		(基) (調)	
目標排出量 (t-CO ₂)	(基) 501 (調) 501		(基) (調)		(基) (調)	
削減量 (t-CO ₂)	(基) 16 (調) 16		(基) (調)		(基) (調)	
削減率	(基) 3.1 % (調) 3.1 %		(基) % (調) %		(基) % (調) %	

イ 温室効果ガスの排出の量の実績

			1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
第1年度	(年度)	排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減率	(基) % (調) %		(基) % (調) %		(基) % (調) %	
第2年度	(年度)	排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減率	(基) % (調) %		(基) % (調) %		(基) % (調) %	
第3年度	(年度)	排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減率	(基) % (調) %		(基) % (調) %		(基) % (調) %	

(2) これまでの取組における温室効果ガス排出の量の削減目標等

比較年度	1、2号該当者		3号該当者		4号該当者
	2013	年度	2013	年度	年度
比較年度排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)	1,239 1,029	(基) (調)		(基) (調)
目標排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)	501 501	(基) (調)		(基) (調)
削減率(目標)	(基) (調)	59.6 % 51.3 %	(基) (調)	% %	(基) (調)
削減率(第1年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)
削減率(第2年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)
削減率(第3年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)

(3) 目標設定に関する説明

2024年度を基準年度とし、目標年度の2027年度まで省エネ法に準じ年平均1.0%とした。
2013年度を比較年度とすると14年間平均3.7%削減です。

(4) 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況及び措置の状況等

(計画には、計画期間内に実施する温室効果ガスの排出量の削減に向けた措置の内容を事業活動脱炭素化取組指針の別表第1から6等を参考に記載してください。)

計画	<ul style="list-style-type: none"> (1) 高効率機器の優先運転 <ul style="list-style-type: none"> ・蓄熱槽運用変更 (2) プラント効率を上げる諸条件を探し運転効率を上げる <ul style="list-style-type: none"> ・ターボ冷凍機運用変更・冷却塔の運用変更 (3) 配管まわりの保温強化 (4) 機器の整備 (5) 機器更新時に、省エネ機器を導入する <ul style="list-style-type: none"> ・通路照明のLED化・高効率モーターの導入 (6) インバーターターボ冷凍機増設
第1年度	
第2年度	
第3年度	
計画期間における排出量の増減等についての評価 (第3年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)	

4 エネルギーの使用量及び当該量の削減に係る事項

(1) エネルギーの使用量に係る原単位等の値 (1、2号該当者)

原単位等の活動量	販売熱量		原単位等の単位		kl/GJ
	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	目標年度
エネルギー消費原単位等の値	0.03173				0.03078
活動量の値	50,421				50,421
エネルギー消費原単位等の削減率		%	%	%	3.0 %

(2) 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値 (4号該当者)

原単位等の活動量			原単位等の単位		
	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	目標年度
排出量原単位等の値					
活動量の値					
排出量原単位等の削減率		%	%	%	%

(3) 目標設定に関する説明

2024年度を基準年度とし、省エネ法に準じ、年平均1%削減することを目標に設定した。

(4) 基準年度からの原油換算エネルギー使用量等の推移 (1、2号該当者)

ア 事業者単位

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
原油換算エネルギー使用量	1,600 kL	kL	kL	kL
エネルギー起源CO ₂ 排出量	517 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
事業所の数	1			

イ 事業所単位

基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kL 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量《クレジット考慮》(t-CO ₂)			
		基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
エネルギーセンター	川崎市高津区坂戸 3-2-1	517			

(5) 計画期間のエネルギー消費原単位等の状況及び措置の状況等

(計画には、計画期間内に実施するエネルギー消費原単位の改善、エネルギー使用量の削減等に向けた措置の内容を事業活動脱炭素化取組指針の別表第 1 から 6 等を参考に記載してください。)

計画	(1) 高効率機器の優先運転・蓄熱槽運用変更 (2) プラント効率を上げる諸条件を探し運転効率を上げる・ターボ冷凍機運用変更・冷却塔の運用変更 (3) 配管まわりの保温強化 (4) 機器の整備 (5) 機器更新時に、省エネ機器を導入する・通路照明のLED化・高効率モーターの導入 (6) インバーターターボ冷凍機増設
第 1 年度	
第 2 年度	
第 3 年度	
計画期間におけるエネルギー消費原単位等についての評価 (第 3 年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第 3 年度の報告時に記載)	

5 再生可能エネルギー源の利用及び使用するエネルギーの電化に係る事項(1、2号該当者)

(1) 再生可能エネルギー源等の導入

ア 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入(基準年度)

種類	設備規模(kW)	発電量(kWh/年)	余剰売電量(kWh/年)	導入(保有)年度
太陽光				予定なし。
風力				予定なし。
バイオマス (燃料:)				予定なし。
その他()				
その他()				
合計				

イ 使用電力の再生可能エネルギー電源比率

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
電力エネルギー消費量	3,503,074 kWh	kWh	kWh	kWh	3,397,982 kWh
再エネ電源等	175,154 kWh	kWh	kWh	kWh	169,899 kWh
再エネ電源比率	5.0 %	%	%	%	5.0 %

(2) 電気事業者等から調達する電力の排出係数

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
排出係数(kg-CO ₂ /kWh)	0.431				0.431

(3) 使用エネルギーの電化の取組

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
電化の割合	48.8 %	%	%	%	50.0 %

(4) 目標設定に関する説明

インバーターターボ冷凍機増設により電化を進める計画です。

(5) 計画期間の再生可能エネルギー源等の導入、電気事業者等から調達する電力の温室効果ガス排出係数等の状況

計画	なし。	
第 1 年度		
第 2 年度		
第 3 年度		
計画期間における再生可能エネルギー源等の導入等の評価 (第 3 年度の報告時に記載)		
上記評価を踏まえた改善対策など (第 3 年度の報告時に記載)		

7 温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する技術又は製品の開発等に係る事項

(1) 全社を含む取組

ア 脱炭素表明・中長期の温室効果ガス削減目標の設定

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
(ア) 脱炭素に向けた表明の有無				
有無	上記目標等の設定なし			
内容				
(イ) 脱炭素に向けた表明の達成年度の目標				
年度	年度	年度	年度	年度
(ウ) 中間目標				
目標	年度	年度	年度	年度
	%削減 ()年度比	%削減 ()年度比	%削減 ()年度比	%削減 ()年度比

イ 脱炭素化に資するイノベーションの取組

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	取組実績なし			
内容				

ウ 中長期的な視点での温室効果ガスの排出量の削減目標

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	無			
内容				

エ 二酸化炭素を排出しない熱エネルギーの導入

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	導入なし			
内容				

指針様式第1号

(第6 - 2面)

オ SBT等イニシアチブへの加盟・賛同

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
SBT	該当なし			
RE100	該当なし			
RE Action	該当なし			
TCFD	該当なし			

カ サプライチェーン全体での削減の取組

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	記載なし			
内容				

(2) 市内事業所の取組

ア 川崎CNブランドの認定の取得

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	製品・技術等の利用なし			
認証年度				

イ 川崎メカニズム認証制度の認証の取得

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	取得なし			
認証年度				

備考 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。

8 地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項（3 から 7 までの事項を除く。）

（各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。）

目標年度までの 計画	なし。
第 1 年度	
第 2 年度	
第 3 年度	